

## 7 処理場のしくみ

下水処理場に集められた下水は、沈殿や微生物のはたらきによって、きれいな水に処理されたのち、消毒して川や海へ放流します。また、水を処理する過程で発生する汚泥は、濃縮、消化、脱水といった工程を経て、濃度を高めながら量を減らしていき、最終的には場外へ搬出され、肥料や建設資材として有効利用するため加工処理されます。

下水処理場では、水をきれいにするために微生物のはたらきを利用しています。微生物が生息する汚泥を下水に混ぜ合わせて空気を吹き込むと、微生物は水の汚れ成分である有機物を食べて分解・増殖を繰り返し、水をきれいにしていきます。増殖した微生物と汚泥と一緒に沈殿すると、きれいな上澄み水が得られます。

